

黒埼町の音

金巻の演奏部 (二)

手製のドラム作りをきっかけに 「兵隊送り」のための楽団を結成

金巻では昭和十三年の演芸部の誕生とほぼ同じころ、楽隊もできつつあった。
手製のドラムで「兵隊送り」
昭和十二年に支那事変が始まると、出征兵士の召集が次第に増えていった。その兵士の見送りを「兵隊送り」といって、どこの町や村でも鳴り物入りで盛大に行われた。鳴り物といっても、何もなかった時代なので、ブリキの空の一斗缶を棒で叩くくらいのものであった。歓呼の声で熱が入り、力いっぱい叩くので、すぐに缶がつぶれ、「兵隊送り」のたびに缶を新調しなければならなかった。



昭和十八年2月11日の遺家族慰安会での金巻青年会の演奏部「花若」写真上/麦まきと附清作 写真下/神楽舞、附清作

昭和十三年ころ、興野の高橋方二郎さんはそんなわずらわしさから、手製のドラムを作ることを思い立った。
まず、自転車店から自転車用の古リムを二本もらってくる。それを並べて立て、木のヒロゴメを適当な長さに切ってしぼり、そこへアタンを巻いてドラムの側面を作った。横の叩く部分には布(スツク)のような厚い切れを張り、音が逃げないようにと、上にニス塗った。ドラムの側の部分にペンを塗るとかなり見栄えがした。叩くと、鈍いがけっこういい音色がでて皆が驚くほどの出来はえだった。金巻行念寺の住職・大滝盛秀師は昭和十三年十月に召集されたが、「この時、新潟県で他

この楽隊組織は、当時の黒埼村内では実に画期的なものだった。金巻の若者の音楽好きにもよるが、武蔵野音楽学校出身で声楽家の関念寺前住職・本田静広師(当時金巻青年会長)の影響も大きかったという。
楽隊では、前田松平がコルネット、近藤清作



写真/金巻民慰安を終わって金巻青年会員の記念写真(昭和22年8月、関念寺で撮影)。演奏部や楽隊で活躍した人々をピックアップすると、前列左から2人目から高橋芳衛、田辺伝平、金子弘、浅妻茂一郎、小川豊作、大野周助、今井利一。前から3列目の右から4人目・小林和夫、その後ろ浅妻軍治。最後列の一番左・前田松平、左から4人目・永井昇平、右から2人目・金子正光、3人目・鈴木志一。

藤徳平がトランペット、大野伝一(昭和十五年病没)がクラリネット、金子弘がドラムを担当して、静広師の指導のもとに練習が始まった。
昭和十五年から十六年にかけてのころ、日本はまだ戦局は優勢で、敵の重要拠点を占領することに、旗行列や提燈行列といって、小学生から年寄りまでが参加し、〇〇陥落万歳、と村中を歩いて回ったものだった。当時、金巻関念寺の上手堤防際にガラス工場があり、軍関係の仕事で数十人が働いていた。工場長が国策を尊奉する人で、こうした戦勝行列に熱心に協力し、金巻の楽隊はそのつど工場長に頼まれて参加したという。そして、そのころ楽隊から楽団に名前を変えた。変えたといっても、「兵隊送り」やこのような行列にだけ出る楽団だった。

そして、戦争の激化とともに、この楽団も消滅した。
昭和二十一年の正月、黒埼の先端を切って、金巻に若者たちの楽団「花若」が誕生した。戦前の先輩たちの演奏部の名前を継いだのである。
二十一年一月、NHKのど自慢が始まり、無名の民衆の歌声がラジオを通じて全国に流れ、暗い世相の中にほのかな明りをともし始めていた時期だったのだ。

期だったので、この楽団の結成は歓迎された。
この楽団「花若」結成の中心になったのは、小川豊作、田辺伝平、今井利一ら音楽好きな若者たちだった。小川豊作が当時としては珍しく楽譜が読めたためリーダー格となった。使用する楽器は、先輩たちが部落ちから買ってもらったドラムや管楽器に、今井利一の手風琴(アコーディオンの前身)だった。メンバーは次のとおり。楽長兼トランペット小川豊作、クラリネット田辺伝平、手風琴今井利一、ギター大野周助、バイオリン鈴木志一・浅妻軍治、ドラム金子正光、司金高橋芳衛、歌手前田松平・永井昇平・小林和夫、白井与八郎・高橋昇に紅一点の大野マサ。
練習は農繁期を除き毎晩のように夜遅くまで、関念寺の本堂でやった。
当時のことを田辺伝平は、「いくら覚えようと思ってもあのオタマジャクシがのみこめず、それでも一番早く音符を読めるようになったのは今井利一くらいだ、あとはみんな音感で覚えたが、いやー大変だった」と話している。
執筆・宮田栄門 取材協力・前田松平、田辺伝平、小川豊作、今井利一、大滝盛秀(敬称略)

町の中小商業の活性化の方策は

町商工会が黒埼町特産館C-1計画策定委員会を設置

黒埼町商工会では、町内の中小商業を活性化させるため、黒埼町特産館C-1計画策定委員会を、県の補助事業で昨年十一月に設置しました。
今年七月、本町山田にオー



写真上/第5回CI計画策定委員会であいさつする浅妻町長。下/そばづくりのようす。

ブン予定の「新潟ふるさと村」に、黒埼町をアピールし黒埼の特産品を販売する施設「Be in くろさき」が第三セクター方式で開業します。この施設を町内の中小商業の活性化とどう結びつけるか、を考えるためにこの委員会が設置されました。
委員は、町内の若手商業者など十六人で構成され、一月末までに五回会合を開いてきました。

一月二十九日、農村環境改善センターで開かれた五回目では、町をアピールする「Be in くろさき」にふさわしい特産品を具体的に考えようと、金巻在住の高橋幸三郎さんから手打ちのそばを作っていただき試食会を開きました。(商工振興課)

善意の窓

*那須野定一さん(木場八割)が十万円、息子の勇さん(写真)が一万九千九百六円を社会福祉に寄付。
*森田孝さん(立仏)が社会福祉に三万円を寄付。
*田辺伝平さん(金巻)が社会福祉に五千円を寄付。
*黒埼町社交ダンス協会(会長・高橋利保さん)がスタンドミラー4基を北部地区公民館と改善センターに寄贈。

- 1月15日 ~ 2月15日
- 1月18日 貯金高100億円達成大会(町農協、町長出席)
 - 22日 郡町村会1月例会(巻町、町長出席)
 - 23日 青少年問題協議会講演会(中央公民館)
 - 25日 内外情勢調査会(新潟市、町長出席)
 - 29日 農振協委員会(役場)
 - 30日 西農調臨時総会(巻町、町長出席)
 - 31日 農業委員会新年会(町内、町長出席)
 - 2月4日 定例課長会議(役場)
 - 5日 信濃川・中の口川治水事業2年度総会(三条市、助役出席) 町村サミット(横越村、町長出席)
 - 7日 保育所運営委員会(役場)
 - 8日 大野大橋景観検討委員会、信濃川漁協新年会(新潟市、町長出席)
 - 13日 農業共済組合会議(改善センター)
 - 14日 町交通安全対策会議(役場、町長出席)

スポーツ会 大 2月

◆第2回町民ソフトバレーボール大会(2月17日、総合体育館) 優勝・寺地 ②蓮方団地③木場ソフトバレーボールクラブB、金巻ママバレー 敢闘賞・板井 ※12チーム参加。

◎第68回菖友会囲碁大会(2月11日、大野関念寺支坊) ▶A級優勝・山田工 ▶B級優勝・大沢三郎 ▶C級優勝・溝淵禎俊 ※次回は4月29日に大野関念寺支坊で開催します。多数ご参加ください。☎菖友会会長・木口正雄 ☎377-2218



疎開当時のままの棚を調査



町政について説明する浅妻町長

疎開の調査に満行寺来訪

二月七日、木場満行寺への集団疎開についての現地調査のために立教大学の鈴木孝光講師が来町しました。来年オーブン予定の東京都立江戸東京博物館で、戦争中の学童疎開の展示をするための基礎調査です。満行寺の住職から話を聞いたり、疎開当時のまま残った棚や本堂のようすを撮影したりしていました。

婦人講座で町長と語る会

二月七日、婦人講座(主催・町教育委員会)で「町長と語る会」が、中央公民館で開催されました。参加者は約二十人。三十分ほど町長が町政について説明したあと、質疑応答に入りました。参加者からは、下水道や街灯など身近な問題についての質問が出され、町長はそれらについていねいに答えていました。

工事名	工事業業者	請負額	完成期限	入札日
河川敷公園階段ブロック設置工事	(株) 中元組	9,373,000円	平成3年3月25日	平成3年1月10日
町道山田22・23号線舗装工事	福田道路 (株)	16,377,000	3月20日	1月18日
町道金巻線側溝改修(補修)工事	(株) 石附組	1,236,000	3月20日	1月18日
黒埼町立立仏小学校校舎改築工事	(株) 内藤建築事務所	1,998,200	3月20日	1月18日
善久1・2号排水路改修工事	(株) 新潟廣瀬組	2,472,000	3月18日	1月18日
前川原ポンプ場付帯工事	(株) 山際総合建設	4,480,500	3月25日	1月18日
町道寺地団地5号線測量設計用地丈量委託	白根測量設計 (株)	1,575,900	3月25日	1月23日

入札結果 総務課